

報 告

「健康と科学のアンダンテ」を開講してみた

村 田 勝 夫*

“Andante for Health and Science” carried out in Extension Courses

Katsuo MURATA *

要 旨

従来から開講していた科学のアンダンテに健康を加味して、薬の効くしくみを中心とした内容とした。健康問題に対する人々の関心が高く、予想以上の受講者であった。大学初年用のテキストを用いて、化学構造式に基礎を置きながら図解中心に理解できる内容としたが、受講者の中には健康食品やサプリメント、そして受講者自身が服用している薬に関する情報の入手を希望される人もいた。講座終了後のアンケートの結果、講座に対する評価では、どの項目でもほぼ高い評価が得られたものと考えられる。

1. はじめに

児童や生徒は小学校や中学校で理科を通して、また高等学校や大学では物理、化学、生物、地学などの教科を通して科学を学習する機会に恵まれているが、学校教育を終えた一般人にとって科学を系統的に学習する機会が比較的少ない。一般の市民が程よい歩調で学習できる科学を目指して、大学開放実践センターにおいて科学のアンダンテを開講した。アンダンテとは、音楽の速度標語の一つで歩くような速さ、ゆっくりとした速度で科学を学習する目的で「科学のアンダンテ」と名付けた。そして大学開放実践センターにおける公開講座として、平成21年度から平成25年度にかけて市民のための科学（科学のアンダンテ）を開講して、その結果を本誌に報告した¹⁾。さらに平成26年度には、昨今の健康志向の要望に沿って、「健康と科学のアンダンテ」というテーマで開講した。その結果、前の報告と比較して興味ある結果が得られたのでこれについて報告する。

2. 健康のための科学アンダンテ（薬が効くしくみを知ろう）

公開講座は5月の半ばより毎週1回金曜の午前中に開講された。スケジュールは以下のとおりで

* 鳴門教育大学名誉教授

ある。

- ①薬を理解するための基礎知識（薬とは？作用の仕方，相互作用）
- ②脳・神経系の病気の薬（偏頭痛，パーキンソン病，認知症の治療薬）
- ③目の病気の薬（緑内障，白内障の治療）
- ④心臓・循環系の病気の薬（高血圧，不整脈，心不全，狭心症の治療薬）
- ⑤消化系の病気の薬（下痢・便秘，消化性潰瘍の治療薬）
- ⑥代謝系の病気の薬（糖尿病，脂質異常，高尿酸血症の治療薬）
- ⑦内分泌系の病気の薬（甲状腺疾患，前立腺肥大，骨粗鬆症の治療薬）
- ⑧炎症・免疫系の病気の薬（炎症・痛み・発熱，感染症，関節リウマチ，気管支喘息の治療薬）
- ⑨がんの薬（がんの治療薬）
- ⑩薬の説明書の上手な読み方と使い方

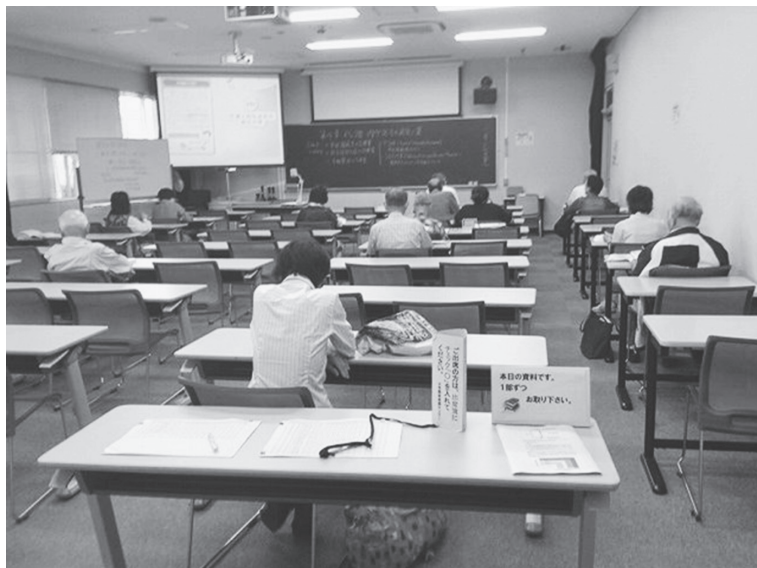


写真1 公開講座－健康と科学のアンダントの講座の様子

平成26年度の受講生は定員20名としていたが，受講希望者が多かったので定員を28名まで増した。これは25年度までとは大きな違いである。これは，26年度の内容が薬を対象としているので，おそらく近年の人々の健康志向が現れたものと思われる。

講座の内容は主としてテキストに沿って行われ，黒板での板書や書画カメラを用いた説明を主とし，またこれを補足するために配布資料も活用した。その様子を写真1に示した。受講者からの質問に対しては，常用している薬の副作用や質問や個別の体の不調などの相談もあったので，主に講座終了してからの対応となった。

3. 公開講座「科学のアンダンテ」の経緯と比較

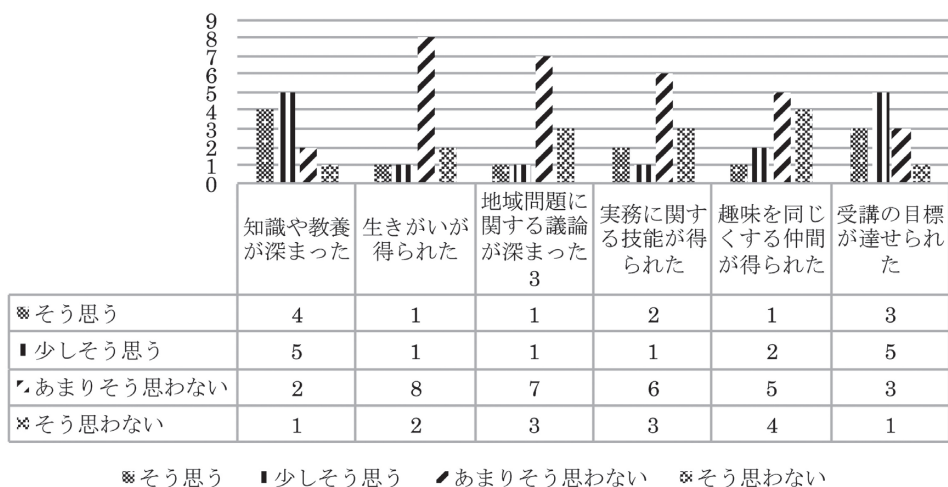
昨年、報告した紀要では平成21年度から平成25年度にかけて行われた公開講座の経緯を概観し、受講者の受講動向を検証した。その結果、平成24年度から平成25年度にかけて受講生が急増した。これは、「科学のアンダンテ」という講座名が定着したうえで、リピーターの6,7名が固定した受講生層を形成して核となっていることを推定した。そして市民がもっと健康志向を希望していそうなので、これを意識したネーミングを取り入れることによって、もっと受講生が増加することを予想した。それで平成26年度は、「健康と科学のアンダンテ」という、講座名で開講した。そして平成23年度と平成24年度と平成25年度の結果と比較するために、表1に平成26年度の結果を示した。平成26年度は受講生が28名に増加し、今までとは異なり女性の受講生が急激に増加した。この原因の一つは講座名を科学から健康を主体にした名前に変更した点と、副題を薬の効き方に絞ったので、女性の関心を引き付けたのではないかと思われる。また6,7名の固定したリピーターが、本講座の受講生の核となっていることがわかる。

開講年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
講座名	科学のアンダンテ	科学のアンダンテ	科学のアンダンテ (健康と化学)	健康と科学のアンダンテ (薬の効き方のしくみを知ろう)
受講生(男)	8	17	13	12
受講生(女)	1	4	4	16
受講生総数	9	21	17	28
リピーター 受講生数	6	7	7	6

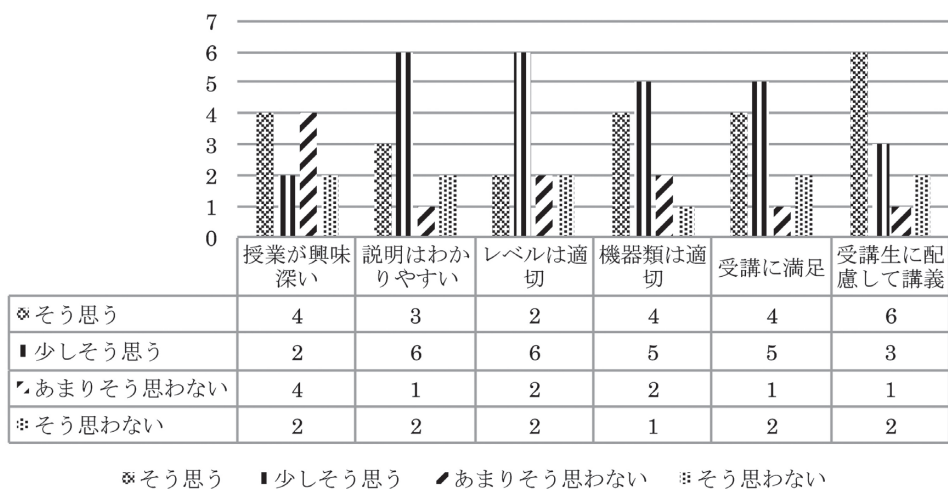
4. アンケートからの分析

受講生28名の中から12名の方からアンケートの回答があった。すべての受講生を対象にはできなかったが、これを中心に分析を試みる。

(1) 受講成果



(2) 講座に対する評価



このアンケートでは、大学開放実践センターの全講座に共通した設問を設定してあるため、必ずしも開講者が意図していない設問が含まれている。例えば受講成果では、「地域問題や社会問題に関する認識の深まり」や「趣味や生きがいを得てその仲間が得られた」などの設問は、本講座とかけ離れており、自然・科学の分野にはふさわしくない。それは受講者にも違和感があり、その結果がアンケートの回答にも明確に現れている。それよりも開講者が期待している設問の「知識や教養の深まり」や「講座が掲げる目標の達成」に期待通りの評価が得られたことに安堵している。また講座に対する評価では、どの項目でもほぼ高い評価が得られたものと考えられる。

5. 問題点と今後の課題

本講座では講座の終了後でも資料を参照できるようにするため、主として冊子のテキストを用い、これを補足するため随時資料も配布した。今回はテキストの内容にかなり忠実に実行したので、盛り沢山な内容と一般市民には不慣れな薬の化学構造式も省略することなく紹介した。そのため病気に対する薬の治療事例そしてサプリメントや薬の飲み合わせや健康食品といった日常生活に必要な情報をもっと取り入れてほしかった、といった感想も寄せられていた。またテキストの説明に多くの時間を取らず、質問の時間をもっと多くしてほしかった、という要望もあった。それに黒板の板書を大きくすることやマイクとスピーカーの出力の問題点も指摘されていた。これらの問題点を次年度の開講に反映させていきたい。

参考文献

- 1) 村田勝夫 (2014) 公開講座における「市民のための科学」の試み, 徳島大学・大学開放実践センター紀要, 23 巻, 41 - 47

Abstract

“Andante for health and science” was carried out in extension courses. Learner can know how to work various medicine in this course. Learners increase owing to healthy subject on the title. Most of learners satisfied content of lecture by using of the illustrated text for the first year of. But a couple of learners wanted to know health food and supplement and to get information about their taking medicine. Questionnaire indicated high evaluation for each item in this lecture.